

# 清流 ニ ュ ー ズ

発行所  
八王子市子安町 1-22-25  
清流寺  
清流ニューズ編集室  
電話 (042) 646-0287 (代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp.org/

平成二十六年 度 総 祈 願  
佛立開導日 扇聖人 二 生 誕 一 百 年 慶 讚  
佛立開花運動 第二 年度 御 奉 公 成 就 祝  
本 年 度 自 主 教 化 奮 願 達 成 之 御 願  
日 序 上 人 御 七 回 忌 報 恩 御 奉 公 成 就 祝  
役 中 後 継 者 養 成 法 灯 相 続 促 進

十七回忌のご正當をお迎えする当山としては、全信徒一丸となつて是が非でも報恩ご奉公を成就させなくてはなりません。

平成二十六年 度 受 持 教 区 発 表  
八王子南・北 加藤日流師  
八王子・京王小金井 本庄乗学師  
元八王子・東村山 安藤序典師  
園分寺・小平・東村山 安藤序典師  
日野・羽村 青梅 浅沼序説師  
立川・大和 本庄序開師  
八王子東・西 長谷川清泊師  
国立・昭島 平松信応師

## 二月の御総講日

- 一日 九時半 御修行日
- 七日 十時 バースデー総講  
日序上人報恩祈念
- 十三日 十時 高祖御命日
- 十七日 九時半 開導御命日
- 於 清流寺
- 十二日 十時 高祖御速夜
- 十六日 十時 開導御速夜
- 廿四日 十時 歡尊御命日
- 於 羽村別院

## 特別行事

- 廿三日 午前十時三十分  
門祖日隆聖人御開山会式  
晴天祈願
- 十六日・廿二日  
第一座 六時〜七時半  
第二座 九時半〜十時半
- 會議  
一日 御総講後 役中會議  
十三日 御総講後 教区長會議

2月23日(日)  
10時30分

## 門祖日隆聖人御開山会式 奉修御導師 盛岡・広宣寺 御高職 柴崎日布導師

来る廿三日(日)午前十時三十分より、本年度第一回目の御会式、門祖会が、盛岡・広宣寺御高職、柴田日布導師を奉修導師にお迎えして奉修されます。

柴田御住職は、これまでも宗門の要職を歴任され、現在では、第七支庁長として、東北地方廿一ヶ寺の先頭に立つてご奉公されています。

さて、門祖日隆聖人は、南北朝時代の至徳二年にご誕生遊ばされ、長じて伯父である日存、日道両上人を便りに本応寺(本能寺)へ入寺されま

した。当時の宗教界の墮落ぶりを改革するために立ち上がり、殊に本門法華宗は、日蓮聖人の教えが濁り、仏様の正しいご本意どおりのご信心ができていませんでしたから、なんととしても、御祖師様の正しい教えにもどそうとご尽力下さったのです。

そうして門祖聖人は、生涯に三千余帖という膨大な著述も遺され、日蓮聖人の教えが正しく継承されることを願っておられたのです。

ですから開導聖人は、妙講一座に「蓮隆両祖の流れをく

み」と仰せられ、門祖日隆聖人のおかげで、尊いご法様にお出值いすることができましたと喜されご教歌を詠まれました。

此君のいまさゞりせは  
遠つおやの

清き流れを誰かくままし  
俗に春の御会式である門祖会は、この門祖日隆聖人の大恩報謝の志をあらわす大事な御会式ですから、今からしつかりと将引のご奉公を徹底させ、一人でも多くお参詣できるように頑張ります。

毎月七日を  
弘通デーに定める  
日序上人報恩ご奉公  
円成のために！  
羽村別院は毎月十二日に実施  
来る六月に先住日序上人御

そのために、毎月七日を弘通デーと定め、午前六時より正午まで、一万遍口唱会を實施いたします。

先住、日序上人が心血をそそいで、我が清流寺を築いて下さったのです。

殊に、先住は、朝参詣に力を入られ、毎朝五時間の朝参詣を實施され、私共に口唱の大切さを身をもってご教導下さいました。

その結果、小紙先月号に掲載いたしました(写真)あの大本堂が建立されたのです。

先住のご教導を直接受けたご信者もだんだん少なくなつてはおりますが、清流寺の教講は、日序上人への報恩の志を熱くもちつづけて、ご奉公にとり組み、ご正當の六月までに一戸でも多く報恩教化が成就できるように頑張ります。

と、示されるのであります。一身を犠牲にしても仏恩に報ずる為、御弘通の御奉公をさせて頂くという決定でなければ到底堪えられないのです。併し、苦しみが多いだけその功德は深く、法師品には

「応二如来ノ供養ヲ以テ之ヲ供養スベシ」とまでこの決定の人をたゞえられてあります。天台、伝教等よりも多く迫害に遭われ、それだけに、より多くの功德が積めたというので

一月九日に開催された第五支庁ご墓前式をうけて、東京中央布教区では、例年通り本年度前期終日口唱会を實施することになり、管内各寺院へ参加をよびかけている。

この口唱会には、当山からも毎回教講合わせて二十数名が参加して当該寺院での口唱会にのぞんでいる。

今回は、麻布・光隆寺に於て実施されることになり、午前十時より午後四時迄、昼食をはさんで行われる。

参加者は、それぞれ手弁当での参加になるが、中央布教区発展、自坊のご弘通発展の折りをこめてこの口唱会に一人でも参加するよう弘通部では将引に力を入れている。

二月十一日(祝)  
東京中央布教区  
前期終日口唱会  
於 麻布・光隆寺

日序上人御十七回忌報恩ご奉公  
御有志奉納者氏名(その五十二)  
(教区順。敬称略。順不同)  
二十六年一月十七日現在  
合計七三九名、一、四七七口  
婦人会一同五口(三十万)完納



## 本月の御妙判

### 御弘通の苦勞

極楽百年の修行は穢土の一日の功に及ばず。正像二千年の弘通は末法の一時に劣るか。是はひとへに日蓮が智のかしこきにはあらず。時のしからしむるのみ

(報恩抄縮1509)

の娑婆世界は穢土と申して、人々の心は殊に險悪ですから、此処で正法を弘めようとする、必ず、種々の迫害が集まってくるという事になります。ですから、この娑婆の一日の御奉公は、極楽に於ける百年の修行よりも、遙かに苦勞が多いということです。併し乍らこの穢土にお題目が弘まれば、土変じて浄土となるわけですから、こゝで唯一日でも迫害に堪えて、

御弘通の御奉公につとめれば、まことに大きな功德を種まきした事になるのであります。仏滅後二千年の間、即ち正法千年、像法千年の時は、人の心も邪悪になつていないときですから難にあつたと申しても末法の世とは比べべきものではありません。天台大師でも伝教大師でも、死を以て脅かされるというような目に遭われなかつたわけではあります。然るに末法はお経文に「恐怖悪世」と説かれてありますように、法華経を弘むる者には、あらゆる危難が集まってくる事になります。宝塔品には

「諸々善男子各々諦力ニ思惟セヨ。此ハ為レ難事ナリ。宜シク大願ヲ発スベシ」

と、示されるのであります。一身を犠牲にしても仏恩に報ずる為、御弘通の御奉公をさせて頂くという決定でなければ到底堪えられないのです。併し、苦しみが多いだけその功德は深く、法師品には

「応二如来ノ供養ヲ以テ之ヲ供養スベシ」とまでこの決定の人をたゞえられてあります。天台、伝教等よりも多く迫害に遭われ、それだけに、より多くの功德が積めたというので

お祖師様が「二陣三陣つゞけよかし」と仰せられてあるのは、菩薩行に励んで、仏果の頂けるよきな御信心をせねばならぬと示し下されたのであります。

極楽というところは清浄であり、安穩でありますから、何もの妨げも受けず、たとへ、百年の間修行を重ねても極めて易々たるものであると云えます。然るに此

の娑婆世界は穢土と申して、人々の心は殊に險悪ですから、此処で正法を弘めようとする、必ず、種々の迫害が集まってくるという事になります。ですから、この娑婆の一日の御奉公は、極楽に於ける百年の修行よりも、遙かに苦勞が多いということです。併し乍らこの穢土にお題目が弘まれば、土変じて浄土となるわけですから、こゝで唯一日でも迫害に堪えて、

と、示されるのであります。一身を犠牲にしても仏恩に報ずる為、御弘通の御奉公をさせて頂くという決定でなければ到底堪えられないのです。併し、苦しみが多いだけその功德は深く、法師品には

「応二如来ノ供養ヲ以テ之ヲ供養スベシ」とまでこの決定の人をたゞえられてあります。天台、伝教等よりも多く迫害に遭われ、それだけに、より多くの功德が積めたというので

お祖師様が「二陣三陣つゞけよかし」と仰せられてあるのは、菩薩行に励んで、仏果の頂けるよきな御信心をせねばならぬと示し下されたのであります。

日序上人御十七回忌報恩ご奉公  
御有志奉納者氏名(その五十二)  
(教区順。敬称略。順不同)  
二十六年一月十七日現在  
合計七三九名、一、四七七口  
婦人会一同五口(三十万)完納